



射水市立大門小学校 学校だより



三輪の結

大門っ子

第15号

令和6年11月26日

校内に不審者が侵入～避難訓練～

さすまた

11月20日（水）、今年度最後の緊急事態発生（不審者侵入）の避難訓練を行いました。学校の敷地内に不審者（射水警察署職員に不審者役を依頼）が現れ、姿を見た向平養護教諭が職員室に連絡しました。不審者は児童玄関北側の施錠されていない所から侵入し、連絡を受けた中野教頭ら数名が不審者の対応に当たりました。また、前田教務主任が全校児童・教職員に不審者が侵入したことを知らせる放送をしました。



不審者が校内に侵入し、立ち退くように説得を試みましたが、教室棟に向かおうとしたために、刺股を持って待機していた職員4名が不審者を制止し取り押さえ、警察に引き渡しました。無事安全が確認されたので、全校放送で不審者が退出したことを全校児童・職員に知らせました。

刺股で不審者を
取り押さえる職員

それから、教室に待機していた子供たちに向けて、射水警察署の方から不審者から身を守る方法を話してもらいました。そして、最後に私から次のような話をしました。

今日は不審者が学校にやってきて、校内に侵入したところ、教頭先生はじめ先生方がうまく対応して、不審者を取り押さえることができました。とてもよい訓練だったと思います。訓練だからできて当然！と思っている人が多いでしょう。でも、訓練できちんとできないと本当に不審者が来た時に、身を守ることができません。訓練こそが大切なのです。そこで今回は不審者役に警察官の方に来ていただきました。迫真の演技に先生方も負けずに真剣に不審者を撃退しました。

今から23年前の6月8日、不審者が大阪の池田小学校の校内に入り、大切な8人の子供の命が奪われました。本当に悲しい事件です。あってはならないことでした。

このようなことが二度と起こらないように全国の学校で不審者対応の避難訓練が行われています。また、玄関やいろいろな所の鍵をしっかりと閉めるのも不審者が入って来ないようにするためなのです。

みなさん、たった一つしかない大切な命を守るため、これからも今日のように真剣に避難訓練に取り組んでください。

新聞やニュースで、痛ましい事件がたくさん起きています。大切なお子様の命を守るため、ご家庭でもこの機会に話し合ってみてはいかがでしょうか。

力を合わせたファミリーオリエンテーリング

寒さが厳しくなってきた11月19日(火)、全校でファミリーオリエンテーリングを行いました。グラウンドで開会式をしようとしていたところ、雨が降ってきました。子供たちの体を濡らすわけにはいかないので、急遽体育館に移動して、校内で行うこととしました。急な変更にもかかわらず、先生方は室内バージョンの活動を準備し、子供たちはすぐにチェックポイントを回ることができました。



チェックポイントの課題は「英語でジャンケン」「ミニミニ玉入れ」「長縄チャレンジ」など全部で15カ所です。リーダーを中心にみんなで協力し、課題を次々とクリアして行きました。今年は課題クリアで得点がもらえるので、どの班も真剣でした。1年生の手を引く6年生の姿が微笑ましく、笑顔があふれたとても楽しい活動となりました。

【結果】

第1位 白団3班 緑団2班

第3位 赤団6班 赤団10班 白団1班 白団8班 青団1班 青団6班
青団8班 黄団2班 緑団4班 緑団7班 紫団9班

研究集会2年目を終えました！

11月6日(水)、小学校教育課程研究集会県西部社会科部会を無事に終えることができました。昨年度から研究推進校となり、今年度は集大成として2年間の研究の成果を発表しました。

今年度は、子供が『問い』を解決しようと、「社会的な見方・考え方」を働かせながら社会的な事象や友達と進んで関わり、理解を深めていく姿を目指して、研修を進めました。

当日、4年3組日高級は「特色のある地域と人々の暮らし～銅器をつくるまち高岡市～」の授業を、6年2組清雄級は「江戸幕府と政治の安定」の授業を公開しました。指導の先生からは、「見学や体験、調べ学習を通した学びの蓄積が子供の主体的な学習につながった」「選択・判断の場を設定す



ることで、子供たちは主体的に調べ学習を行い、根拠をもって自分の考えを伝え合うことができた」と褒めていただきました。この2年間、全教職員で取り組んできた成果を発揮できた提案性の高い研究集会となりました。この学びを今後の子供たちへの学習指導に生かしていきたいと思えます。



(校長 阿尾昌樹)